

時にかなって美しい

シリーズ～終末を生きる～

2018/2/4 合同礼拝

伝道者の書 3章 1 1 節

神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠への思いを与えられた。しかし、人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。

〈新改訳〉

「時間(タイム)」を創造された神

- 神は天地創造の際に「時間」を創造された
 - 「時間」も神の被造物である
- 神は「時間」を与えて下さる
 - すべての人に等しく与えられているプレゼント
- 神は「時間」を支配しておられる
 - 「時間」を始められた神は、時を保ち、やがて終える

「時(タイミング)」を支配される神

- 神は「美しい」と思えるほど、絶妙のタイミングで私たちの人生に働かれる
 - 「神はすべてを時宜にかなうように造り」新共同訳
- “神の時” (3:1~8)
 - 「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。生まれるのに時があり、死ぬのに時がある。…植えるのに時があり、植えた物を引き抜くのに時がある。…くずすのに時があり、建てるのに時がある。…」

(コヘレトの言葉 3章)

何事にも時があり

天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

生まれる時、死ぬ時 植える時、植えたものを抜く時

殺す時、癒す時 破壊する時、建てる時

泣く時、笑う時 嘆く時、踊る時

石を放つ時、石を集める時

抱擁の時、抱擁を遠ざける時

求める時、失う時 保つ時、放つ時

裂く時、縫う時 黙する時、語る時

愛する時、憎む時 戦いの時、平和の時。

〈新共同訳〉

(コヘレトの言葉 3章)

人が労苦してみたところで何になろう。

わたしは、神が人の子らにお与えになった務めを見極めた。

神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を
思う心を人に与えられる。

〈新共同訳〉

「時(タイミング)」を支配される神

- 神は「美しい」と思えるほど、絶妙のタイミングで私たちの人生に働かれる
 - 「神はすべてを時宜にかなうように造り」新共同訳
- “神の時” (3:1~8)《始まりと終わり》
 - 「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。生まれるのに時があり、死ぬのに時がある。…植えるのに時があり、植えた物を引き抜くのに時がある。…くずすのに時があり、建てるのに時がある。…」

終末は最も美しい時におとずれる!

永遠への思い

- 人の心には“永遠”への願望がある
 - 「神は…人の心に永遠(への思い)を与えられた」
 - “He has also set eternity in the hearts of men”
 - ゆえに人は“時を超えて”知ろうとする
- 人の命には限りがあるのですべてを知ること
はできない
 - 「しかし、人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。」

永遠への思い

- 人の心には“永遠”への願望がある
 - 「神は…人の心に永遠(への思い)を与えられた」
 - “He has also set eternity in the hearts of men”
 - ゆえに人は“時を超えて”知ろうとする
- 人の命には限りがあるのですべてを知ること
はできない
 - 「しかし、人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。」

人の判断には限界がある!

神をおそれる

「私は知った。神のなさることはみな永遠に変わらないことを。それに何かをつけ加えることも、それから何かを取り去ることもできない。神がこのことをされたのだ。人は神を恐れなければならない。」3:14

- 人はおのれの限界を知らなければならない
 - 人の知識・能力・時間は限られている
- 人は神をおそれ、ゆだね、祈り、待ち望む
 - 神の御業を妨げないように…

人は何もできないのか？

- すべてのことは神が決められたとおりになっているのなら、人はただの「ロボット」だということにならないか？
- 人に決定する自由はないのか？
- 神がすべて思いのままにされるのなら、人は何もせずただじっとしていれば良いのか？

人は何もできないのか？

- すべてのことは神が決められたとおりになっているのなら、人はただの「ロボット」だということにならないか？
- 人に決定する自由はないのか？
- 神がすべて思いのままにされるのなら、人は何もせずただじっとしていれば良いのか？

**人は、自分の意志で決定し、行動する
(しない)自由が与えられている。しかし、
限界があり間違える可能性がある**

伝道者の書 3章 1 1 節

神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠への思いを与えられた。しかし、人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。

〈新改訳〉